

2024年2月25日 御子イエスの血はすべての罪からきよめます

2月最後の日曜日になりました。今週末には3月です。新しい季節を迎えるにあたってシナイの荒野を旅するイスラエルの人々と私を重ねてみました。

火と雲の柱という見える神の保護と確かな導きを見ながら、イスラエルの人たちはつぶやきつづけました。その中に私がいたならば、私もそうであったに違いありません。神が共におられたとしても毎日マナを食べて、荒野で生活し続けることは苦痛です。日々の食物を下さってカナンへと導いて下さる神につぶやくことは罪に違いありませんが…。

信仰を共にする兄弟や牧師から「苦痛と考えるのは間違いです」「本当の信仰があれば荒野も恵みです」と言った答えは、押しつけ的にも聞こえるではないでしょうか。牧師が忘れてしているのは、教会の兄弟姉妹は日々、試みや孤独、緊張や争いの中で生きていると言うことです。間違いなく荒野の旅はそれ自体が試みであり孤独なのです。

荒野も恵みです…は「頑張って信仰を持って進みましょう。神は必ず祝福されますから」と言っているように聞こえます。しかし大切なことは、神がイスラエルの民と共に荒野を歩いて下さったことです。

イエス・キリストが私たちのもとに来て下さったのは、荒野を生きる私たちの隣り人として、私たちの兄弟となって下さるためでした(ロマ8:29-30)。神は私たちをあわれみ、助けるために、どれほど多くの犠牲を払われたことでしょうか。十字架に掛けて…。Iヨハネ4:1~10

日々、試みや孤独、緊張や争いの中で生きている私たちのために、なによりも罪そのもののために「そういうわけで、神のことについて、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。それは民の罪のために、なだめがなされるためなのです。ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることができになるのです。」ヘブル2:17~18 「罪のために、なだめが」これが福音です。

● 単に「優しい神が私を愛して下さった」と言うものではありません。なだめの…とは、神の正しい裁きと罪への怒りを神の御子イエス様が「なだめる」ことです。「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」Iヨハネ1:5~2:6

● 今日の礼拝も、会堂と家庭でオンライン結ばれていることを感謝いたします。健康のすぐれない兄弟、痛みの中にある兄弟に主の良きお支えがありますように。午後の集会はありません。リーダー会(役員会)があります。

● 来聖日は第一日曜日です。青年会(契悟兄)・ハンナ会(美代子姉)・主人会(西村兄)別による礼拝と定例会ですから祝福を。

● 先聖日の午後(2:00~3:30pm)は班別集会でした。晋一兄によるお勧め、義岩兄による教会員の語り合い、高木兄による記録を感謝。ハンナ会の有志によって昼食が用意されましたから感謝します。

● 教会員の希望により(班別で)、今週から「礼拝式順」が印刷されています。週報と一緒にお受け取り下さい。礼拝式順は義岩兄が担当しておられますから感謝を。

● 3/24(日)は3月度総会が書面で。4/14(日)は4月度総会が会堂であります。

● 西村兄は帰省しておられ、今日は加古川教会に出席です。

● 寒い季節ですが植物部(香佳姉)による、聖日と平日の花々手入れと玄関付近の清掃を感謝します。

● 「バプテスト障がい者伝道協力会」から機関誌【野の花】No.344と、精神障がい者F交流誌「生望(Kibou)」No.7を頂いています。

● 岡崎篤義・真紀宣教師【台湾】からの「宣教報告2024年2月」が掲示されています。お働きのために熱いお祈りを。

● 3/11.12(月火)、JBBF 総会【安藤師】が神学校で対面とリモートで行われます。すでに議題・役員改選等リモートで終えています。